

表紙の写真は市内在住の水野あゆみさんよりご提供いただきました。  
「桜まつりが中止で寂しいですが、来年こそは開催できるように願いをこめて」

## 主 な 内 容

- ☆ 3月定例会概要  
「夢さくら公園がオープン」 2～5
- ☆ 3月定例会の審議結果等 6～7
- ☆ 所信表明に対する代表質問・一般質問 8～21
- ☆ 【議会活動報告】意見募集を行いました 22～23
- ☆ 市議会からのお知らせ 24

**3月**

定例会の  
あらまし

**3** 月定例会(第1回)は、2月26日から3月24日までの27日間の会期で開催されました。この定例会では、「令和3年度予算」をはじめとする市長提出議案44件、愛知県知事解職請求に係る不正署名問題の真相究明を求める決議案1件の審議を行いました。(審議結果は6ページをご確認ください。)

また、各党派の代表者4名が市長の所信表明に対して代表質問を行い、一般質問では、議員9名が市政全般にわたり質問しました。(9ページから21ページ)



旧給食センター跡地(八剣町寺山地内)

# 夢さくら公園がオープン!!

地元をはじめ多くの市民に親しまれる公園となることを願い、市民のみなさんと6月中旬頃に公園の芝張りを実施する予定です。

## 新年度予算に関する議案

### 夢協えるプロジェクト

**Q** 市民の夢協えるプロジェクトには、7つの事業(広報いわくら4月号参照)があるが、これらの事業はどのような審査基準で決定されたのか。

**A** プロジェクトについては、市実施コースと委託コースがあり、審査方法はそれぞれ異なるが、市制50周年記念事業審査会で審査して、採用する事業を決定している。

**A** この制度自体は、国のサポカー補助に上乗せする形で愛知県と協調して事業を実施している。国及び県が令和3年度も引き続き、事業を実施することから、本市もそれに併せて繰越額を実績ベースで検討したものとなっている。

### 安全安心カメラ

**Q** 令和3年度の当初予算では、備品購入費が計上されていない。これは新たな設置の費用が見込まれていないということだが、増設の考えとして、当初予算では計上せず、補正予算で対応するということか。

### 高齢者(65歳以上)後付け安全運転支援装置設置補助

**Q** 令和2年度の予算は障害物検知付・なし、それぞれ40台分の予算がついており、令和3年度はそれぞれ20台分の予算と半減している。どのような見込みなのか。

**A** 令和2年度に10台増設して、令和3年度は合計168台を検証等を含め運用していく。ただし、増設の相談があれば、補正予算等で適切に対応する。

**AI総合案内サービス**

**Q** AI総合案内サービスが令和2年度から行われて、AIが学習をしている最中だと聞いている。学習しているのはどのような形で行われているのか。また、トラブルの発生状況や問い合わせの件数など、利用状況はどのようなか。

**A** 毎月、質問の記録が情報提供されるため、それを分析し、回答が上手くできていない内容について、各課の協力を得て、再度Q&Aデータとして、追加登録する形で学習している。利用状況については、令和3年1月末現在で、質問数が1126件。質問内容は、ごみに関すること、市役所の業務時間に関すること、コロナウイルス感染症に関するトラブルの報告は受けていない。

**総選挙における感染症対策**

**Q** 令和3年1月に行われた、市長選挙においては、新型コロナウイルス感染症対策として様々な取組が行われたが、衆議院議員総選挙においても、感染症対策費は計上されているのか。

**A** 市長選挙時と同様、投票に来る人の投票事務に従事する人の安全を確保するため、消毒用アルコール、ゴム手袋、フェイスシールドなどを購入するための消耗品費、投票所での事務従事者を通常よりも多く配置するため経費を計上している。

**コンビニ交付サービス**

**Q** コンビニでのマイナンバーカードを利用した住民票の写し及び印鑑登録証明書の交付について、令和3年2月からサービス

が始まっているが、2月の実績はどのようなか。

**A** 住民票の写しは55件、印鑑登録証明書は34件、合計89件の利用があった。

**保育園におけるきょうだい別園の状況は**

**Q** これまでもきょうだい別園にできないように配慮をいただいているが、1歳児、2歳児の入園希望が多い中で、きょうだいと同じ園ではない状況が耳にすする。令和3年度のきょうだい別園の状況は。

**A** 様々な条件により点数をつけて審査している。また、きょうだいがいる人を優先するという配慮もしている。しかし、様々な配慮をしたとしても希望する園に若干名しか入園できない場合もある。3月現在ではまだ

確定していないが、令和3年度もきょうだい別園の状況は複数存在している。

**新型コロナ ワクチン接種**

**Q** 4月末にワクチンが届くということだが、接種の優先順位は決めているのか。

**A** 順番としては、高齢者からとなるが、在宅の人から、施設に入所している人から等の順番は検討している段階である。

**Q** 集団接種は6月以降になるとのことだが、各病院での個別接種はどれくらいの病院の協力があるのか。

**A** 市内13カ所の医療機関に協力いただくとのこと。

**Q** 13カ所の医療機関の個別接種については、いつごろから行われる想定か。

**A** 4月末にワクチンが届き次第、接種の準備をしていく。所や開催する時間帯などを検討していく。

**日曜資源回収**

**Q** 日曜資源回収について、今後も回収量が増えていくと考えられるが、開催回数や場所などの見直しはどのようにか。

**A** 消防署で行う日曜資源回収について、交通渋滞を起しめ立て(ごみ)として処理している状況もあり、警備員の配置の委託料を増額している。今後は、場

**Q** 4月から電池の回収方法が変わるが、どういった経緯で決まったのか。

**A** 国内産の乾電池については、水銀ゼロ宣言があり、水銀は使用されないということ

**電池の回収**



日曜資源回収における渋滞車両

池については、処理場やパッカー車でリチウムイオン電池が原因と思われる火災が発生しており、乾電池類を分別品目として収集することとした。

ビジネスサポートセンターへの補助

Q コロナ禍で新規事業者の相談はなかったと考えるが、相談件数と相談内容はどうであったか。また、委託費は適正か。

A 令和元年度で9件の相談があった。内容としては、新商品やサービスの開発支援、人材確保の支援、ホームページの立ち上げ支援などが多くあった。委託費は、相談件数が増加していることもあり、状況を見ながら検討していく。

桜通線の整備

Q 工事着手はいつぐらいを見込んでいるのか。

A 令和5年度には一部工事ができるように現在調整している。

石仏公園の整備

Q 工事着手はいつぐらいを見込んでいるのか。

A 令和5年度に納税猶予を解除される土地が1筆あり、それ以後の工事着手となるため、令和6年度になると見込んでいる。\*石仏スポーツ広場を石仏公園として整備する予定。



五条川右岸堤防道路の整備

Q 一定の用地買収が完了したところだが、今後の見通し、スケジュールはどのようなになっているのか。

A 令和2年度でほぼ用地買収が完了している。現在、愛知県と今後の進め方について協議をしており、令和3年度から4年度にかけて、護岸等の設計を県が実施する。その中で護岸の形、桜の植樹場所の検討などを実施した上で、市として、堤防道路の工事に取り掛かっていきたい。そのため、早くとも令和5年度以降の工事着手になると考えている。

一宮春日井線の延伸

Q 当初予算には計上されていないが、今後の考えはどのようなか。

A 愛知県と小牧市と岩倉市の3者で事業を実施しているが、

小牧市側の事情が進められないという状況になっている。引き続き、小牧市とは情報交換しながら、事業を進められる時期が見えた段階で予算措置をすることになる。

コロナ禍での救急搬送

Q コロナ禍での救急搬送の対応について、発熱の患者等の受け入れで、時間を要してしまい、問題となった事例があるが、本市の救急搬送の受け入れは問題なく行われているのか。

A スムーズな現場活動のため、搬送件数の多い医療機関の救急受け入れ可否の状況については常時情報を受けており、現場滞在時間の増加などの変化は特にない。

民間施設での水泳指導委託

Q 北小学校では東小学校よりも多い人数への指導となり、

移動なども大変ではないかと考えるがどうか。

A 東小学校では学年をまとめて行っていたが、北小学校については学年を2つに分けて、2クラスずつ指導を行うことを検討している。

国民健康保険の人間ドック助成の拡大

Q 令和2年度は、コロナ禍の中で特定健診の集団健診ができなくなり、人間ドックの助成を広げたが、令和3年度はどのような見込みで考えているのか。

A 令和3年度の特定健診については、新型コロナウイルス感染症対策ということで、会場内の混雑緩和を図るために1日の定員を120人として、30日間実施する。定員を設けると考えられるため、関係で、人間ドックの助成については、これまで700人としていたところ1400人という

いわくらしや水

「いわくらしや水」とは、ミネラルを豊富に含んだ岩倉市の水源から採水した飲料水で、市制50周年記念事業に合わせ製造し、販売する。

Q 「いわくらしや水」について、販売が好評であれば、再販をしていくことを考えているのか。また、5年の保存期限があるとのこと、各行政区などに備蓄用での購入を勧めてもよいと思うがどうか。

A 販売状況が良ければ、継続して販売していきたいと考えている。5年保存ということでも、家庭用でも地域でも備蓄することに向いていると考えられるため、そうしたPRもしていきたい。

道路上の漏水の増加

Q 漏水の件数が増えてきているということですが、漏水の状況はどのようなか。また、早期発見のための市民への周知はどのように行っているのか。

A 令和2年度2月現在の実績で65件の漏水が発生している。令和元年度は46件のため、20件近く増えているという状況。市民へは、令和2年の広報11月号で漏水発見の際には市役所へ連絡をしていただくよう周知をした。

水源廃止の判断

Q 稲荷町水源設備等撤去工事は水質におけるマンガンの値が高くなったことが原因だと聞いている。マンガン除去をせずにそのまま使えている水源について、マンガンの値が上がった際に、マンガン除去装置を付けるのか、水源を廃止

するのか、どのように判断するのか。

A 他の水源についても装置を付けると多額の費用がかかるため、供給する世帯数や災害時の水の供給の観点などから検討する。

条例等に関する議案

行政評価委員会の目的

Q 行政評価委員会は、第5次総合計画という最上位の計画の評価も含まれている。この委員会の目的は。

A 総合計画の進捗を管理すること、市民に対する行政の説明責任の徹底、市民の視点に立った効率的で質の高い行政の実現、行政の透明性の向上を図ることなどを目的としている。

公の施設の指定管理

Q 非常に老朽化している施設もあり、修繕の相談が多く出ているのではないかと考えるが、計画的に対応しているのか。

A 学習等共同利用施設については、要望に応じて一定の修繕費を毎年確保している。それに加えて、修繕の相談があれば、その年度の予算で間に合うものは年度内に対応をしている。

介護サービスの人員、設備及び運営に関する基準の改正

Q 介護職員の労働条件については、夜勤体制の人数や、業務を兼務させることによって、

一人一人の介護職員にとっては責任や業務量が増えることになる。そういった中で、離職が増えて、かえって介護職員の確保が難しくなっていくのではないかと考えるが、市はどのように考えているのか。

A 兼務などで仕事の負担が増えるということも社会保障審議会の中では議論されている。一方で、人を融通し合えるといったところで、職員のシフトが組みやすくなって職員への定着を促す効果もあるといった議論もなされている。労働者の声、事業所の声を確認しながら適切な運用に努

まないかという意見もあった。

めることが市として一番大事なことを考える。

人事案件

副市長の選任について  
【新任】柴田 義晴 氏(市内在住)……………同意  
教育長の選任について  
【再任】野木森 広 氏(江南市在住)……………同意

教育委員会委員の選任について  
【再任】江口 雅啓 氏(市内在住)……………同意  
【再任】松本 恵 氏(市内在住)……………同意  
固定資産評価審査委員会委員の選任について  
【再任】高橋 政明 氏(市内在住)……………同意



## 【3月定例会の議案等の審議結果】

議案等

審議結果



※下記の市長提出議案及び決議案は全員賛成で同意または可決されました。

### 市長提出議案

#### 人事案件

5ページに記載

#### 条例制定・一部改正等

○第 7号 岩倉市行政評価委員会条例の制定について

他15件

#### 令和2年度補正予算

○第 2号 令和2年度岩倉市一般会計補正予算(第11号)

他7件

#### 令和3年度予算・補正予算

○第27号 令和3年度岩倉市一般会計予算

他7件

#### その他

○第34号 第5次岩倉市総合計画「基本構想」及び「基本計画」について

他2件

### 決議案

○第1号 愛知県知事解職請求に係る不正署名問題の真相究明を求める決議案

## 賛否が分かれた議案等

※梅村 均議員は議長なので採決に加わらない。(可否同数の場合を除く)

(賛成は○ 反対は×)

件名	審議結果	梅村均	片岡健一郎	鬼頭博和	谷平敬子	水野忠三	大野慎治	黒川武	宮川隆	須藤智子	井上真砂美	伊藤隆信	関戸郁文	堀巖	木村冬樹	榎谷規子
議案第15号 岩倉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○討論	○	○	○	×	×	×
議案第17号 岩倉市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	—	○	○討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
議案第37号 公の施設の指定管理者の指定について	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○討論	○	○	×	○	○
議案第38号 公の施設の指定管理者の指定について	可決	—	○討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○討論	○

## 【2月臨時会の概要】

令和3年2月2日、臨時会が開かれ、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種についての予約や相談を行うためのコールセンター業務の委託料を計上した補正予算の議案が上程され、賛成多数で可決されました。

○議案第1号 令和2年度岩倉市一般会計補正予算(第10号)

※議案等はこちら→



## 3月定例会の主な討論(要旨)

議案第15号 岩倉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

## 反対討論

日本共産党 木村 冬樹

今回の条例改正には、人員体制や運用の基準を緩和する内容も含まれている。ただでさえコロナ禍で施設の消毒など感染防止対策で業務量が増えている中で、安全にサービス提供ができるのか不安を増大させる内容となっている。

一定の条件があるが、介護職員が他の職務を兼務できる内容や夜勤体制を緩和できる内容は、介護職員の業務量と責任を重くするものとなる。介護職員の確保の困難さが改正理由になっているようだが、介護職員の業務量と責任の負担増は利用者へのサービス提供にも影響するものと考えられる。

今回の人員体制と運用の基準緩和は、国の基準に従うべきものというところで、市の条例改正はやむを得ないかもしれないが、国の考えは介護職員の確保が困難な中で、介護需要の増大を職員の負担増で乗り切ろうとするもので、結果的に利用者の安全を脅かすものであり、許すことはできない。今、国がやるべきことは、国の責任で介護職員の処遇の改善と人員を増やし、業務の軽減を行うことではないか。

以上の点で、国の対応への抗議を込めて、反対の立場を表明する。

## 賛成討論

創政会 須藤 智子

団塊の世代のすべてが75歳以上になる2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年を見据えて考えると、地域包括ケアシステムを構築、充実させていくことが重要である。

今後、少子高齢化が進展し、介護を必要とする人が増加する一方で、介護を担う人材の減少が見込まれる。職場環境の改善や運営基準の緩和を通じたサービス提供の効率化及び業務の負担軽減を推進することでの人材確保が必要なことや、新型コロナウイルスに代表される感染症への対策が喫緊の課題となっている。

今回の改正内容は、感染症や災害への対応力の強化、地域包括ケアシステムの推進、介護人材の確保などの観点から見直しがされたものである。また、基準の緩和については、利用者へのサービス提供に支障がない場合にしか行われたいとしており、今後の地域包括ケアシステムの構築推進を進める上で必要な改正である。

この改正で、利用者へのサービスの低下や、安全性が損なわれることがないよう、また、職場環境の改善となるよう要望し、賛成とする。

### 「愛知県知事解職請求に係る不正署名問題の真相究明を求める決議案」を議決しました!

愛知県知事解職請求に係る不正署名問題の真相究明を求める決議

昨年8月から行われた愛知県知事解職請求では、県内各市町村の選挙管理委員会に対して約43万5千人分の署名簿(岩倉市3114人)が提出されたが、偽造が疑われる署名が多数あることが明らかになってきた。

そのため、愛知県選挙管理委員会が署名簿の内容の調査を実施し、同一人により書かれたと疑われる署名や、選挙人名簿に登録されていない者の署名等が多数見つかり、8割を超える約36万2千人分(岩倉市2799人・89.88%)の署名が有効と認められず、本人以外の者によって大量の署名が偽造されたことが明らかにとなり、2月15日、警察に対して地方自治法違反の疑いで告発状を提出した。

また、解職請求の期間中に多数のアルバイトが動員され、署名簿への書き写し作業を行ったとする組織的な不正も明らかになってきた。

一定数を超える住民の署名により、選挙で選ばれた地方公共団体の議員や長の解職を求める直接請求は、間接民主制を補完する重要な制度であり、不正な署名が行われていたことは、民主主義に対する重大な挑戦であり、その根幹を揺るがすことになり、容認することはできない。

よって、岩倉市議会は、民主主義を守るため、愛知県知事解職請求に係る不正署名問題について、真相究明を徹底して行うことを強く求める。

以上、決議する。

令和3年3月24日

岩倉市議会



3月定例会では、市長の所信表明に対して、各会派の代表者が質問を行う代表質問と、議員が自身の考えや市民の皆様の声をもとに、市政全般について質問する一般質問を行いました。

なお、9~21ページは本人が責任をもって編集した要約原稿です。詳しくお知りになりたい方は、議会動画配信、市議会議事録をご覧ください。

※議事録は5月下旬ごろからご覧いただけます。

### 3月2日(火) 所信表明に対する代表質問

- 1 関戸 郁文 (P. 9) 「新型コロナワクチン接種方針について問う」
- 2 黒川 武 (P.10) 「リーダーシップをどのように発揮するのか」
- 3 栂谷 規子 (P.11) 「県道江南岩倉線の北への延伸は見直すべき」
- 4 鬼頭 博和 (P.12) 「SDGsの認知度向上に向けた市民周知を求む」

動画はこちら▼



### 3月8日(月) 一般質問

- 1 木村 冬樹 (P.13) 「行政評価の項目を見直すべき」
- 2 宮川 隆 (P.14) 「ボランティア団体等との関わりは」
- 3 須藤 智子 (P.15) 「2022年問題(生産緑地制度)について問う！」
- 4 大野 慎治 (P.16) 「令和3年度もプレミアム商品券を発行するべきでは」
- 5 井上真砂美 (P.17) 「男女共同参画社会実現のために」

動画はこちら▼



### 3月9日(火) 一般質問

- 1 谷平 敬子 (P.18) 「デジタル化の効果を高齢者にも広げる」
- 2 水野 忠三 (P.19) 「ワクチン接種会場までの移動の支援方法は」
- 3 片岡健一郎 (P.20) 「電子決済での還元事業を本市で実施してはどうか」
- 4 堀 巖 (P.21) 「農地の違反転用の現状は」

動画はこちら▼





創 政 会  
関 戸 郁 文 議 員

# Q 新型コロナワクチン接種方針について問う

## A 国の方針に従い準備を整える

4月1日以降となつていたが、ワクチンの供給不足により後ろにずれ込む可能性が出てきた

国の優先順位に従い、医療従事者から接種が開始され、次に65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する人、高齢者施設等の従事者、最後に16歳以上の人となる。対象者には、順次、接種券など個別通知をする。発送時期については、国の方針に従うこととなるため、時期が示され次第、速やかに発送できるよう、準備を整えておく予定である。接種券が対象者に届いたら、接種日時

Q コロナワクチン接種時期、方法などはどうようになるか。

A 国の優先順位に従い、医療従事者から

新型コロナウイルス感染症対策についての具体的な施策について問う

ため、国の方針が示され次第、接種できるよう、準備を整えていく。



Q 「地球温暖化対策実行計画・区域施策編」及び「生物多様性戦略」について、ポイントは。

A 岩倉市環境基本計画では、「低炭素型

が対象となる。温室効果が対象となる。温室効果

社会の実現」、「自然共生と生物多様性の確保」を基本方針に掲げ事業の推進を図っている。「地球温暖化対策実行計画・区域施策編」は、地球温暖化対策の推進に関する法律で、市民や事業者をはじめとした本市に

Q 「笑顔あふれる岩倉市」の実現に向けて、市民の皆様への熱い「メッセージ」を一言いただきたい。

A 「笑顔あふれる岩倉市」であるため

ガスの排出抑制等を推進するための総合的な計画として目標を設定し、その目標を達成するために実施する措置の内容を定めることになり、再生可能エネルギーの導入、省エネルギーの促進、緑化推進、廃棄物等の発生抑制等、循環型社会の形成を市民や事業者と一体となって進める計画とする。「生物多様性地域戦略」は、生物多様性の恵みを将来にわたり享受できる持続可能な社会づくりを進めるものとし、この戦略では自然の保全と人々の生活の豊かさの両立を目指して検討していく。



市制施行50周年の節目にあたり、先人が築いてきた本市の良さを改めて見つめ直し、岩倉市への愛着を深め、未来につなげていくことが、「笑顔あふれる岩倉市」の実現につながるものと考えている。これからも、市民の皆様のご期待に

「笑顔あふれる岩倉市」の実現に向けて、市民の皆様が健康であること、そして安全で安心して暮らすことができることが、何より大切である。まずは、新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組み、今後は、ワクチン接種を希望される方に円滑かつ安心して受けていただくよう体制を整えることが最重要課題であると考えている。また、市制施行50周年の節目にあたり、先人が築いてきた本市の良さを改めて見つめ直し、岩倉市への愛着を深め、未来につなげていくことが、「笑顔あふれる岩倉市」の実現につながるものと考えている。これからも、市民の皆様のご期待に

「笑顔あふれる岩倉市」であるため

えられるよう様々な行政課題に対し、職員と一丸となって取り組み、市民の皆様が笑顔があふれる岩倉市を目指し、2

えられるよう様々な行政課題に対し、職員と一丸となって取り組み、市民の皆様が笑顔があふれる岩倉市を目指し、2

えられるよう様々な行政課題に対し、職員と一丸となって取り組み、市民の皆様が笑顔があふれる岩倉市を目指し、2

えられるよう様々な行政課題に対し、職員と一丸となって取り組み、市民の皆様が笑顔があふれる岩倉市を目指し、2

えられるよう様々な行政課題に対し、職員と一丸となって取り組み、市民の皆様が笑顔があふれる岩倉市を目指し、2





大黒川 志 議員

リーダーシップをどのように発揮するのか

市民や職員の多様な意見に耳を傾け、決断を下す

ワクチン接種市民向けQ&Aの作成を

ワクチンの安全性に関する情報が少なく、副反応に対する不安があり、接種するかどうかの自己判断が難しいのではないかと。市民向けのQ&Aを作成してはどうか。

拡大は、いつ頃にどう実施するのか、国の助成制度の創設がなくても、やり切る考えか。

子ども医療費の拡大は、子育て世帯の負担軽減を図るため、18歳の年度末までに拡大したい。約3800万円程かかる見込みであり、国や県の補助がないことから、全額を市が負担することとなる。まずは入院のみを対象とするなど、段階的に拡大したい。国の制度として実施されるよう、今後も市長会で要望したい。

ワクチンの予防接種は、接種を希望し同意を得た場合に限り接種を行うもの。正しく理解していただくために安全性や副反応等の資料を作成し、市ホームページ等で周知を図る。

子ども医療費の助成拡大は、子ども医療費の助成を18歳の年度末まで

子ども医療費の助成拡大できるだけ早期に実現へ

「子ども医療費の助成を18歳の年度末まで

岩倉駅東地区全体の整備方針について

「岩倉駅周辺のにぎわいと活力の創出」のポイントは、江南

岩倉線の整備である。県

は土地地区画整理事業などの面整備の考えであるが、地元の意向は単独用地買収方式を望む声が多いとのこと。打開策をどうしていくのか。一宮市は、一宮駅周辺地区計画で、商業と住居の複合化などによるにぎわいの創出を掲げている。

岩倉駅東地区全体の整備方針について、早めに検討に取り掛かってはどうか。

既 市街地内の道路整備はまちづくりと一体となった整備を行うこととの通達が行うこととされている。江南岩倉線から出ている。江南岩倉線の延長約360メートルの整備を土地地区画整理事業などで実施する場合、多額の費用と長い期間を要することから、現在整備中の

桜 線通、第一工区として整備中であり、第二工区の着手時期は、現時点では具体的に示すことができない。

めている。令和元年5月の意見交換の場において3市で確認している。

桜並木再生計画について

昨年12月、ジンダイアケボノ4本が

五条川堤に植栽されたが、これは桜並木の再生の一步である。南部中学校の生徒が桜並木の再生の募金を始めていると聞き感動した。あらゆる世代の意見を聴き、財政も含めて桜並木再生計画を立案してはどうか。

既存の桜をきちんと管理すれば、まだ十年単位で立派な花を咲かせるといふ樹木の意見。一方、将来を見据え、植え替えを進めることも大切である。試験的に植え替えの生育状況をしながら、岩倉五条川桜並木保存会、樹木医にも相談し、多くの市民に関わってもらえる実施方法や財源について検討する。

桜 線通、第一工区として整備中であり、第二工区の着手時期は、現時点では具体的に示すことができない。



日本共産党  
榎谷規子議員

## Q 県道江南岩倉線の北への延伸は見直すべき

### A 交通渋滞の緩和が期待できる

コロナ対策は国が進めるワクチン接種を待っているだけでいいのか

Q 感染者が増えた第3波でも、岩倉市は検査体制の拡充等、何も行ってきていない。3密を避け、マスク、手洗い、消毒という新しい生活様式の実行のお願いばかりである。コロナの最大の特徴は無症状の感染者がどんどん感染を広げてしまうことである。ワクチンが市民に

行き渡るのはまだ先なので、検査によって無症状の感染者を早く見つけ、隔離、治療し、感染の拡大を止めるべきである。リスクの高い医療機関や高齢者施設では毎週検査するなどの取組が大事といわれている。市内の高齢者施設のPCR検査はどうなっているのか。密接を避けられない障害者の福祉施設でも必要ではないか。

社会的検査の先進例に習うべきと考えるがどうか。

A 市内高齢者施設におけるPCR検査は、一部の施設で職員全員の検査を行ったところもあるが、法人として検査費用を助成しているところもあるとのこと。現在、高齢者入所施設の職員を対象にPCR検査の希望者数等を、県と市が協力して調査を進めている。県に確認したところ、他の福祉施設職員の検査の実施は未定とのことである。

Q コロナ禍の中で、女性の自殺者が増加しているという報道が繰り返されている。市長は「健幸で安心して暮らせる安全なまち」を掲げているが、岩倉市における自殺者の状況はどうか。

A 令和2年の市内の自殺者は5人。令和元年は7人。女性の自殺者は増加している状況である。臨床心理士による「こころの健康相談」を月2回保健センターで開催し、また、「ゲートキーパー」(悩んでい

Q 心身ともに健康を！自殺者の増加を食い止めて！

江南岩倉線の北への延伸—都市計画道路は見直すべき

Q 名神高速道路建設で、昭和40年以前に焼き場とともにあった墓地は移転させられたとのこと。また、道路の延伸によって移転させられるのかと怒りの声が届いている。北部保育園も移転させられ、五条川小学校、第六児童館、

岩倉北幼稚園等がある地域で道路の延伸によって、交通量が増えるのは許せない。市は、一方で人口減少社会に向けて公共施設は13%縮小するという計画を国の主導で策定したが、都市計画道路こそ見直すべきと考えるがどうか。

令和3年度から、後期高齢者の人間ドックも市内12の医療機関で実施—助成手続きの簡素化を求める

Q 後期高齢者の人間ドックについては12月定例会で取り上げ、市民の要望が実現でき

A 都市計画道路江南岩倉線は岩倉市内だけの道路ではなく、一宮市を経て江南市へ通じる尾張北部地域の人やモノの南北交通軸ともなる道路であり、今回の延伸整備によって周辺の道路の慢性的な交通渋滞の緩和が期待できる。墓地や北部保育園の移転に当たっては、地域や保育園利用者の方々のご意見をいただきながら進めたい。

A 申込は電話を基本とし、受診後の費用助成の申請は郵送での申請とするなど、できるだけ負担を軽減するよう配慮する。今後も利用しやすくなるよう医師会と協議しながら検討していく。





明和 議員  
公鬼 頭博和

### SDGsの理解促進を求む

**Q** SDGsは、2030年までの世界

共通の「持続可能な開発目標」である。誰一人取り残さない社会の実現を目指すもので、政府や自治体、企業の活動だけではなく、個人単位で多くの人が活動を継続することが大切である。マイボトルやエコバッグを持ち歩き、環境に配慮した認証マーク入りの商品を買うなど、私たち一人一人にもできることは数多くある。SDGsを特別なものではなく、「自分ごと」として捉え、それぞれの活動、生活の中に浸透させていくことは大変重要である。本市においても、2

### SDGsの認知度向上に向けた市民周知を求む

#### A 市職員の理解を深めると共に、市民周知を進める

030年の世界を変えていくためにSDGsの理解促進に向けた取組はできないか。

**A** 本市では、職員向けの研修を実施し、第5次総合計画案等に、施策とSDGsの17の目標を反映させた。市民向けには、令和2年、協働のまちづくりセミナーでSDGsを取り上げた。今後は、さらに職員理解を深め、市民の認知度向上に向けた取組を進めていく。

触で体温を測定することとは、施設内感染や集団感染を防ぐ効果があり、施設利用者の安心感にもつながるので、本市でも設置してはどうか。



かった場合の入場制限や対応方法など、その運用や人員配置等も検討する必要があり、公共施設の運用状況等を考慮しながら対応する。

**Q** 1年以上続いているコロナ禍において、最近では自粛疲れが広がり、特に若者を通じて家庭や職場で感染が広がっているため、若者の行動変容を進めることが大切である。若者は、主にスマホ等のSNSによって情報収集を行っているため、最近では、SNSや動画による呼びかけを行っている。本市においても、公式ラインやYouTube等を使って動画による若者の行動変容を呼び掛けるはどうか。

**A** 若者世代は新聞やテレビを見る機会が少ないといわれており、行動変容を促す情報を効果的に届けるためには、SNSを利用して映像等で伝えることが重要である。市のSNS等で厚生労働省など関係機関の啓発動画等を紹介して、広く呼びかけていきたい。

**Q** 歯科健康診査の実施が80歳の方にならなっている。口腔機能の低下は、フレイルにつながるため、早めに発見して適切な対応をとることで全身の健康を保持できる。この取組は今後も継続できるのか。

**A** 口腔内の健康や口腔機能を保持、増進することは全身の健康につながるため、歯科健康診査で各年代に応じた口腔内の健康づくりに取り組んでいる。80歳まで今後も継続して実施し、歯と口腔の健康づくりを推進する。

#### 新型コロナウイルス感染症対策の推進を

**Q** 市役所などの公共施設に、サーモグラフィ装置を設置し感染対策を行っている自治体も増えている。非接

市役所などの公共施設に、サーモグラフィ装置を設置し感染対策を行っている自治体も増えている。非接

**A** サーモグラフィ装置は、不特定多数の方が利用する施設において、新型コロナウイルス感染拡大を予防するために有効な手段である。一方で、体温が高

**Q** 市民全般を対象に、健康や育児の悩みについて、スマホやタブレットを使用し保健師等の専門職員が、オンラインによって顔の見える形で対応している自治体もある。このような体制を本市においても

**Q** 市民全般を対象に、健康や育児の悩みについて、スマホやタブレットを使用し保健師等の専門職員が、オンラインによって顔の見える形で対応している自治体もある。このような体制を本市においても

**A** 口腔内の健康や口腔機能を保持、増進することは全身の健康につながるため、歯科健康診査で各年代に応じた口腔内の健康づくりに取り組んでいる。80歳まで今後も継続して実施し、歯と口腔の健康づくりを推進する。



日本共産党  
木村冬樹議員

## Q 行政評価の項目を見直すべき

### A 評価シートは全面的に見直す

行政のデジタル化への対応は

**Q** 国が進める行政のデジタル化・標準化では、マイナンバー窓口にして国民のあらゆる個人情報連携させ、そのデータを民間企業が活用することを「成長戦略」としている。新型コロナウイルス種々の情報管理についてもマイナンバーを活用した新たなシステムを導入しようとしているが、急ごしらえのシステムが安全に稼働するのにか心配される。ワクチン接種をマイナンバーで管理することはやめるべきではないか。

**A** 国からの情報を把握し対応していきたい。

**Q** 行政のデジタル化・標準化を進める国の「基本方針」には「誰一人取り残さない」とうたわれているが、実際は、経済的、技術的な

問題で通信端末を持たない人、使えない人が置き去りにされているのではないか。デジタル技術を使える人と使えない人の間で行政サービスに格差があつてはならない。現在の国の姿勢をどう見ているのか。

**A** デジタル化により住民の利便性の向上や業務の効率化を図るとともに、不慣れた住民に対しては丁寧かつ適切に取り組んでいく。

### 新たな行政評価制度にむけて

**Q** 令和3年度から、新たな行政評価制度が始まる。外部評価の本格導入や3段階評価から5段階評価への見直しなどが主な内容となつている。令和元年度の施策評価結果では、「順調に推移しており、このまま維持する」と評価された「学校給食」では、衛生管理基準に違反する配

食の遅れが度々発生していた。最低基準が守られていなかったのに、どうして高い評価になるのか。「配食の遅れは評価項目に入れていない」という答えに、耳を疑つた。これまでの施策評価はどのように行われてきたのか。

**A** 施策において実施した事業の実施状況を踏まえ、総合的に評価してきた。

### 要介護状態が重度化していないか

**Q** 介護保険の要介護度が進んだ場合などに区変更新申請の件数が全国的に急増していることが令和2年末の調査で分かった。専門家は、新型コロナウイルス感染症を恐れた高齢者が外出や施設利用を控えたことで、身体機能や認知機能に悪影響が出ていた可能性がある。本市

における区分変更申請の状況はどうか。また、全体として要介護状態が重度化していないか。

**A** 要介護認定申請件数全体に占める区分変更申請件数の割合は、過去2年間と比較して増えておらず、75歳以上の要介護3から5の認定率も増えていない。一方、コロナ禍でデイサービスの利用を控えたため状態が悪化し区分変更申請に至ったケースもあり、今後も区分変更申請の状況を注視していく。

### 水道・下水道の経営戦略を読み解く

**Q** 令和2年12月、水道事業と公共下水道事業における経営戦略が示された。水道事業では、老朽管の計画的な更新が課題であり、コスト削減や財源確保のため、民間委託の対象業務の拡大や必要に応じた

料金改定を検討するとされている。公共下水道事業では、五条川右岸地域の面整備が今後も必要であり、財政的には一般会計からの繰入に依存している状況であるため、コスト削減や財源確保のため、県の流域下水道における汚泥処理の共同化への参加や適正な使用料体系への改定を検討するとしている。最終的には、民間委託推進と市民負担増につながるのではないかと

**A** 水道事業の運営を民間に委ねるセッション方式の導入は現実的でないが、他の事業体で実施している包括委託については研究していく。水道料金や下水道使用料の改定は市民の意見も聴きながら検討していく。





大志 クラ ブ 宮川 隆 議員

行政運営の一翼を担う団体との関わり方を考える

私の身の回りだけでも、「イキイキライフの会」が行っていた『福祉有償輸送』。放課後児童クラブで手芸を指導していたNPO団体。長年観光事業や地域資源の育成に努めていただいていた「いわくら塾」等、高齢化とコロナ禍でのモチベーションの低下、後継者不足により、解散など事業の継続が困難となっている。市長からは、「行政区をはじめ地域の課題に使命感をもって取り組むものの年々後継者不足が深刻化し、活動の停滞や中止等の状況になっている団体もある。また、現役世代の地域活動への参

Q

ボランティア団体等との関わりは

A

市の施策として取組を検討する

加が少なく、いわゆる地域のつながりの希薄化もその要因である。こうした中、高齢化は、大きな課題と考えている。地域が活力を得て、魅力ある地域活動が持続されるためには、幅広い世代・住民の協力が必要となる。そのため若い世代の参加を促して行けるよう、地域における担い手の育成や効率的な地域活動方法とそれらに関わる市職員の関わり方などを地域と行政が協力して検討していく必要があると考えている。」との考えが示されている。生活環境や意識の変化も大きな要因と思うがどうか。

A

団体の世代交代はどの活動分野でも課題である。高齢化等の影響により活動を終了す

る団体があることは、時代の流れとはいえず、とも残念であり寂しくもある。また、これまでの活動に敬意と感謝を表すものである。特に、社会的意義の大きな分野で事業委託等を担っていただいていた団体がなくなることは、地域から当該事業がなくなる事であり、住みやすさや市の魅力の低下にもつながっていくもので、大きな損失であるといえる。そうした事業については、検証の上、市の施策として取組を検討する必要がある。また、同様の活動を担う新たな団体があれば、協働の相手として協力していく必要があると考える。

※武田信玄の言葉で、「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇(あだ)は



いわくら塾による活動

災害対策を今一度考える

Q

東日本大震災から10年が経過した。未だに4万人を超える避難者が不自由な生活を送られている。自然災害をなくすことはできないが、想定外をなくすことはでき

きと考える。岩倉市の防災計画はどのようなになっているか。

A

防災計画は、国・県の計画に基づき毎年検討を行っている。マニユアル等についても、全国の災害事例を参考として策定している。

Q

「岩倉市の計画は、きめ細かな点にまで配慮されている。」と、防災の研究者からも評価をいただいている。今後女性や避難困難者の意見を反映されていくのか。

A

策定に当たり、自主防災会や地域ごとの防災訓練時にとどまらず、パブリックコメント等、様々な機会を捉えて意見交換を行い計画に反映している。

Q

災害が発生したときのことを想定し、被害を最小にするため、将来の岩倉市の姿を想定した「事前復興計画」を策定してはどうか。

A

岩倉市は、内陸部に位置しており、南海トラフ地震が発生した場合でもまちの骨格が損なわれることはないと考えている。『第5次岩倉市総合計画』を踏まえて、大規模自然災害等に備えた、事前防災・減災と迅速な復旧復興に関する施設管理の指針となる『岩倉市地域強化計画』の策定を進めている。そのため、『事前復興計画』策定の考えはない。





創 政 会  
須 藤 智 子 議 員

## Q 2022年問題(生産緑地制度)について問う!

### A 土地所有者の意向が優先される

**A** 令和2年9月にかけて、現在、生産緑地を所有している全員に、令和4年12月4日以降の「特定生産緑地」の指定について確認したところ「特

**Q** 2022年に「生産緑地」全体の約8割にあたる面積の営農義務が終了することで、固定資産税、相続税の優遇措置がなくなり、多くの土地が売却される可能性があり、土地価格の急激な下落や、周辺の中古マンションなどの価値の下落などの影響が懸念されている。これが、生産緑地の2022年問題といわれている。市街化区域にある農地は、生産緑地法により農地として認定される「特定生産緑地」と宅地に転用する「宅地化農地」に分けられるが、岩倉市では、農業を続ける意思があり、後継者がいる「特定生産緑地」の指定を受ける人の割合はどのようか。



**A** 令和2年9月にかけて、現在、生産緑地を所有している全員に、令和4年12月4日以降の「特定生産緑地」の指定について確認したところ「特

**Q** 農業を続ける意思がなく、後継者もいないので売却する人、後継者もなく、買取申出をしている人の割合はどのようか。  
**A** 指定を希望しない理由までは確認していないので、売却する人については把握していない。買取申出が可能となるのが、令和4年12月4日以降となるので、現時点では、買取申出を申請することができない。

定生産緑地」への指定を希望される人は、115人中91人で79・1%となり、指定を希望しない人は、24人であった。

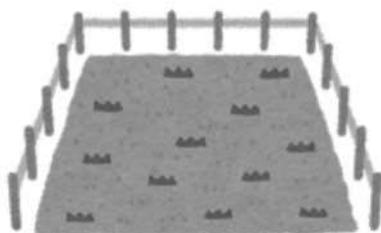
**Q** 現在、「特定生産緑地」への指定を希望しない人が2割程度であるが、時が過ぎ、世代交代などにより生産緑地を希望しない人が増えてくると思うが、岩倉市として今後の市街化区域内の農地について、どう考えるのか。  
**A** 生産緑地地区として指定した土地所有者の中には、高齢となり、いつまで農業に従事することができるとか分からないという意見もあり、毎年、従事者の死亡や健康状態による生産緑地の指定解除があり、生産緑地地区の指定面積も当初の154団地16・45ヘクタールから、現在、96団地8・99ヘクタールと7・46ヘクタール減少している状況である。農地は、農産物の生産機能のほか、保水機能など多面的役割を果たしており、市街化区域内における生産緑地は貴重な農地なので特定生産緑地制度の活用などに

より、今後も保全していただきたいと思っっているが、様々な事情による土地所有者の意向が優先されるものと考えている。

**Q** 共有制度の見直しによって本市の影響はどのようになるのか。  
**A** 本市では、現在のところ所有者不明の土地により公共事業が滞っているという状況はない。  
**Q** 相続登記の義務化によって本市での影響はどのようになるのか。  
**A** 本市では、現在のところ所有者不明の土地により公共事業が滞っているという状況はない。

**Q** 共有制度の見直しによって本市の影響はどのようになるのか。  
**A** 本市では、現在のところ所有者不明の土地により公共事業が滞っているという状況はない。

**Q** 新たな財産管理制  
度によって本市での影響はどのようになるのか。  
**A** これらの制度により所有者不明による様々な土地の所有権問題について改善されると考える。





大志クラブ 大野慎治議員

Q

令和3年度もプレミアム商品券を発行すべきでは

ごみ集積場所について  
問う

Q 市内にカラス被害を受けているごみ集積場所があるため、被害の大きい集積場所から試行的に、犬山市で導入され、効果が証明されている折り畳み式ごみ収集容器(ネットステーション)を導入するべきではないか。

A 課 等整理しながら実施に向けて研究・検討を進めていきたい。

尾北自然歩道について  
問う

Q 五条川堤防道路にの標識があるのに路面標示がない、指導停止線の表示についても不規則であるため、統一的に表示するべきではないか。

A 公安委員会が管理している「止まれ」については、原則、標識と停止線、「止まれ」表示の3点セットを行うものであり、地元から指摘や要望があった時に、順次対応していく。また、市道路管理者が管理している指導停止線については、五条川堤防道路と車両の交通量が多い主要な橋との交差点は安全対策として対応していきたい。



折り畳み式ごみ収集容器

Q

庁内のプロジェクトチームを中心として、今後検討していく



止まれ路面標示なし(明治橋)

Q 名草線下の地下道(アンダーパス)は落書き対策が必要ではないか。



地下道落書き状況

A 景観に配慮する必要があることから

地下道壁面に桜の絵を描くことも対策と考えるが、他自治体の取組状況を踏まえ検討していきたい。  
岩倉神社の保護樹林について問う

Q 緑の基本計画に代表的な樹木と記載されている岩倉神社のヒトツバタゴ、通称ナンジヤモンジヤの木が2月中旬に伐採されてしまった。保護樹林の指定解除の手続き前に伐採されてしまった経過は。

A 施設利用者のための駐車スペースがないことから、岩倉神社の樹木の一部撤去が必要になったものである。当該地が保護樹林の指定を受けているといった認識がなかったため、指定解

清潔で美しい快適なまちづくりについて問う

Q 本市には岩倉市清潔で美しいまちづくり条例があるが、市民の皆さんが条例を知らないのではないか。岡崎市では、令和2年10月からキレイに愛されるまち、オカザキ。としてみんなでキレイにやろまいキャンペーンとして、いつでもどこでも気軽にボランティアとしてごみ拾いアプリ「ピリカ」でごみ拾い、始めてみませんか?を開始している。また、生活環境の美化の推進に関する条例制定のまち岡崎市マナーを守って美しく快適

A ごみを減らし、岩倉が清潔で美しい町であるように、研究を続けていく。



その他にも、大矢公園調整池本体工事後の公園整備計画について質問した。



創 政 会  
井上真砂美議員

## Q 男女共同参画社会実現のために

### A ジェンダーギャップが障壁である

**女性の参政権行使は75年前の出来事**

※昭和時代の男女別家庭科(被服・食物・保育等)歴史の中で「性別役割分業」が刷り込まれてきた。

**Q** 岩倉市男女共同参画基本計画の基本理念「地域(みんな)でもに支え合い、生活と仕事が調和するまち」の地域のルビがみんなとは。

**A** 地域には家庭、職場事業者、地縁者など多様な主体がいる。お互いを尊重・理解し合い、自分なりの役割を發揮しながら、ともに支え合う調和のとれた社会を目指していく意味合いを込めている。

**Q** 主な課題、人材発掘、育成は。

**A** ジェンダーは無意識のうちには社会全体に根付き、人の行動や考え方、生き方を制限している。ジェンダー平等に向けて取り組むことが

**Q** 自己水源と県水の現状、災害時の水確保は。

**A** 県水は岐阜県下呂市岩屋ダムを水源とする河川水。犬山浄水場で水処理し、岩倉市井上町の配水場に貯えている。12カ所に自己水源がある。男女共同参画に必要。男女共同参画にまつわる内容を企画する生涯学習講座や、サテライトセミナーの開催で、市民の関心や意欲を高め、人材発掘に向けた取組をしている。県教育委員会主催の女性指導者研修会へ市民を派遣し、その後、各種活動に取り組めるようフォローアップしている。

必要。男女共同参画にまつわる内容を企画する生涯学習講座や、サテライトセミナーの開催で、市民の関心や意欲を高め、人材発掘に向けた取組をしている。県教育委員会主催の女性指導者研修会へ市民を派遣し、その後、各種活動に取り組めるようフォローアップしている。

※ジェンダーとは、男は男らしく、女は女らしくという性別に対する意識。

**世界各地で水紛争が起きている**  
**市の貴重な水資源をどう使うか**

**Q** 自己水源と県水の現状、災害時の水確保は。

**A** 県水は岐阜県下呂市岩屋ダムを水源とする河川水。犬山浄水場で水処理し、岩倉市井上町の配水場に貯えている。12カ所に自己水源がある。

ある。自己水源32に対し、県水は68の割合で供給中。飲料水の備蓄は1人1リットルを目標に50000リットル。岩倉市配水場・岩倉団地配水場・消防署・中央公園合わせて3770トンの水が確保できる。停電しなければ、自己水源の井戸からくみ上げることがも可能。

**Q** 小学校区毎に停電しても使用できる「井戸と手押しポンプ」を設置しては。

**A** 井戸を設置する場合は、合県条例基準(くみ上げる深さが10メートル以内、1日の揚水量350立方メートル以下など)を満たし、知事の許可が必要。日常の管理も必要であり、今後研究する。



八剣町水源

**魅力度PRに向けて**  
**Q** より魅力度PRのために。

**A** 岩倉駅西側のホームから見える壁面はシティプロモーションの一環として利用するよう研究する。手入れされた花木や夢さくら公園の芝張りイベントもPRし、啓発していく。

啓発していく。



「コロナ禍での『学び』」

**Q** 水泳学習等できなかった学習や行事・授業参観等の精選や縮小で、親や地域の方とのつながりへの影響は。

**A** 調理実習や合唱など「感染症対策を講じてもお感染リスクの高い学習活動」は感染防止対策を徹底し、実施時期や方法を工夫して行った。水泳の授業は南部中学校以外は実施しな

かった。実施困難な状況を理解していただいた。地域とのつながりが切れてしまわないように連絡を取り合い、実現可能な行事から実施していく。

個々の学習を深める「学び合い」の状況と今後の学校教育への影響は。

**Q** 学 全線で力を合わせて探究する楽しさをどう進めていくのか、常に悩みながら取り組んだ。隣や前後の仲間と確認しながら、学びを深めていた。「学校の新しい生活様式」に則って工夫を凝らして教育活動を進めていく。

学 全線で力を合わせて探究する楽しさをどう進めていくのか、常に悩みながら取り組んだ。隣や前後の仲間と確認しながら、学びを深めていた。「学校の新しい生活様式」に則って工夫を凝らして教育活動を進めていく。



県上水道五条川第1水橋



明子 敬子 議員  
公谷 平敬子

Q

デジタル化の効果を高齢者にも広げる

A "ITの恩恵を全ての人に" 取り組んでいく

Q 本市のマイナンバーカードの普及状況と普及促進の取組について。

A 本市のマイナンバーカードの交付状況は、2月末で11181枚、交付率は23.2%となっている。本市の取組としては、広報紙でマイナンバーカードが健康保険証として利用可能になることやコンビニで証明書の取得が可能になることなどのメリットについての周知を図るとともに、カードの利便性の向上に取り組んでいく。

Q 75歳以上の高齢者にスマホ購入の助成を。

A スマートフォンを所持していない理由には、必要性を感じていない、操作方法が分からないといった理由もあるが、購入経費や維持費といった費用面での問題もあると思われる。今後デジタル化による利便性が図られていくものと考えられるため、課題として研究していきたい。

Q 本市の自転車事故の現状はどのようなか。

A 令和2年が39件、令和元年が48件、平成30年が49件。自転車に関わる死亡事故は、令和2年と平成30年に1件ずつ発生している。

Q 本市の自転車ヘルメット着用の啓発についてはどうか。

A 愛知県の平成27年から令和元年の5年間の自転車事故のうち、67%は頭部の損傷が原因で亡くなっており、ある調査によると、ヘルメットの着用は、頭部損傷による死者の割合を約1/4に低減することが可能といわれている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢者対象の交通安全講話



や交通安全教室が開催できなかったが、引き続き高齢者の交通安全講話等の機会を捉えて、着用の周知に努める。

Q 命を守るため自転車ヘルメット購入の助成はできないか。

A 現在、愛知県において、令和3年度に自転車乗用ヘルメット着用促進事業費補助金の創設をするとの話がある。本市においても、自

市民の防災意識向上への取組は

Q 市民の防災意識を高めるための対策はどのようなか。

A 市民の防災意識を高めるため、広報いわくらやホームページ、市民ふれ愛まつり等のイベントで啓発を実施している。また、自主防災会が主体の小学校区での地域合同防災訓練では、地域が必要とする訓練内容を参加する自主防災会が考えて実施している。引き

Q 防災グッズや避難所備品を市役所などの公共施設で展示してどうか。

A この地域では、30年以内に70%から80%の確率で発生するとされている南海トラフ地震が危惧されており、防災グッズや避難所備品を展示することは、実際の避難所をイメージすることができ、避難生活に必要なものを考える良い機会になるので、展示場所や方法、規模などをできる範囲で検討していく。



上につながる取組等を検討していく。

A 令和2年度は、生涯学習センターの自主企画講座として、ス

Q 高齢者に対するスマホ講座の開催や支援について。

令和2年度は、生涯学習センターの自主企画講座として、ス

令和2年度は、生涯学習センターの自主企画講座として、ス

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢者対象の交通安全講話

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢者対象の交通安全講話



水野忠三議員

# ワクチン接種会場までの移動の支援方法は

## A 「高齢者(75歳以上等)タクシー運賃助成事業」などが行われる(※【追記】参照)

通学路の交通安全確保を問う

Q 安全確保については、どのような施策が行われているのか。

A 新年度に教員が登校に付き添って通学路の確認、必要に応じて登下校の指導を行っている。また、毎年、通学路の安全点検を行い、要望を取りまとめて学校から報告をいただいている。危険箇所については、岩倉市通学路安全推進会議において検討し、緊急の対策を要する場合は改善を図っている。

Q 交通指導員とボランティアの方々の「より良い協働」は。

A 通学路の交通安全や児童生徒の見守りには、多くの地域の人々の目が大切である。多様な主体や団体と役割を分かち合いながら、協働して地域の見守りを進めていくよう研究していく。

新型コロナウイルスワクチン接種の機会確保等を問う

Q 自宅から外出が困難な方々のワクチン接種の機会確保をどのように図るか。

A かかりつけ医に相談していただき、訪問診療等での対応となる。関係機関と連携し、個々の身体状況や生活状況等を把握しながら個別の相談に対応していきたい。

Q ふれ愛タクシーの無料利用料金の無料化無償化や、ワクチン集団接種会場へのシャトルバス運行などはできないか。

A 接種会場までの移動手段の確保としての具体的な支援方法や料金の無料化等については、現在、内部で検討している。

※【追記】一般質問の質疑後、令和3年度3月補正予算(第1号)において、「高齢者(75歳以上等)タクシー運賃助成事業」が行われることになった。

小中学校での食育及び学校給食を問う

Q 小中学校での給食の現状及び課題は。

A 特色のある給食の提供に努めている。献立作成委員会において、児童生徒の反応や様子を給食主任の先生方にお聞きし、栄養教諭が献立作成の参考としている。なお、令和2年度は、「学校の新しい生活様式」に基づき、給食時には机を向かい合わせにしない、大声での会話を控える、などとしている。

Q 学校給食で、大豆を食肉のような食感に加工した食材である「大豆ミート」(ソイミート)なども活用できないか。

A 大豆ミートに限らず、子どもが野菜好きになるような食材については、近隣市町での導入事例を参考に、今後に向けて研究していきたい。

A 給食での使用例では、ミートソースに混ぜたり、キーマカレーのそばろとするなど、栄養価を高めることを目的としている。現在、本市では使用していないが、大豆ミートに限らず、子どもが野菜好きになるような食材については、近隣市町での導入事例を参考に、今後に向けて研究していきたい。

Q 愛知県の「あいちビジョン2030」と市政との関連を問う

A 本市の近隣市町も含めた「横断的な課題」は。

Q 広域的な課題としては、暮らしと経済を支える広域交通基盤の強化や市街地等の浸水被害の軽減などが挙げられる。具体的には、都市計画道路の整備やスマートインターチェンジの整備、排水機場の更新や調整池の設置など新川流域にお

ける総合的な治水対策の推進などがある。

Q 愛知県の「あいちビジョン2030」と本市の「第5次岩倉市総合計画」との「より良い相乗効果」をどう図っていくか。



A 本市の第5次総合計画には、あいちビジョン2030と共通する課題や施策も示している。本計画に基づき、本市の普遍の将来都市像である「健康で明るい緑の文化都市」の実現をめざし、国や愛知県とも連携しながら、総合的、計画的なまちづくりを進めていくことが重要であると考える。



議員 創政 岡健一郎

行政区と市との関わり方について問う

現状、各行政区で役員選出など課題となっていることを当局は把握できているか。

高齢化に加え、ライプランの多様化などにより、以前のようには行政区の役を引き受けてもらいにくくなっている現状がある。行政区の課題は行政区個別に相談させていただいている。区長会協議会に職員も出席しているの、今後地域の実情を把握するよう取り組んでいく。

行政区担当職員制度を導入し、情報共有をすることにより、行政と区、また区と区の連携をより深めて持続可

電子決済での還元事業を本市で実施してはどうか

庁内のプロジェクトチームを中心に検討していく

能な行政区運営を推進してはどうか。

地域担当職員制度は、地域の実情やその課題を知り、市の施策へ反映していくことができる職員育成や、地域との信頼関係の強化により市民との協働のまちづくりを推進できると考えられる。導入している自治体の事例を調査し、検討を行っていききたい。

市内における放置自動車の状況はどうか。また持ち主不明で市が負担している調査、撤去などに掛かる費用はどうか。

平成29年度から令和元年度までの3年間の実績は、8台、4台、9台の21台発見し、そのうち4台は経過観察中、12台は自主撤去、5台は市が撤去した。また、費用については、3年間で23万4380円を執行している。

岩倉市は市域も狭く、放置自動車の台数も少ないため、引き続き道路法に基づき処理を行っていききたいと考えており、当面、市としては、放置自動車の増加を食い止めるためパトロールの一層の強化を図り、警察と協力し、早期発見早期処理に努めていく。

最先端技術を取り入れたまちづくりについて

自動運転技術、ドローン、AI技術に代表されるように最先端技術の進歩は目覚ましい、これらの技術を積極的に取り入れ、特色あるまちづくりについての当局の見解を問う。

稲荷町区の役員マニュアルの事例を紹介しました。



岩倉市内における放置自動車について

最先端技術を取り入れたまちづくりについて

全国的に見ると最先端技術を持った企業の実証実験を積極的に誘致し、まちづくりに活かしている自治体があるが、岩倉市も積極的に誘致してはどうか。

第5次岩倉市総合計画では、マルチパートナーシップによるまちづくりを基本理念に掲げており、民間企業との連携も進めていきたいと考えている。岩倉市の課題解決につながると判断できる内容であれば、実証実験への参加を前向きに検討していききたい。

経済の活性化及び新型コロナウイルス対策の観点から非接触の電子決済を推進し、電子決済での還元事業を本市で実施してはどうか。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から非接触の電子決済を推進し、電子決済での還元事業を本市で実施してはどうか。

※一般質問の質疑後、「キヤッシュレス決済ポイント還元事業」が実施されることになった。



堀 巖 議員

# Q 農地の違反転用の現状は

## A 8箇所で4000平方メートル

### 防災について問う

**Q** 災害時、助かったが、その後の生活のストレスなどで亡くなる関連死に対する対策も必要である。コロナ感染症により、避難所に行きたくないという人が増えると予測される。人数の想定は。

**A** 過去の災害事例から、一定数いることはわかってきているが、どの程度かを想定することは難しい。

**Q** 中津川市では、「集団生活ができない、したくない人の防災個人ノート」というものがある。自分で事前に災害が起きたときの対応をチェックしながら再確認できるようにになっている。岩倉市でも作成し、配布しているかどうか。

**A** 様々な自治体や団体で作成した防災啓発ツールを参考にしながら市民の防災意識の向

上につながるよう、防災手帳などの作成及び活用方法について研究している。

### 議会への情報提供のあり方を問う

**Q** 令和2年10月1日にライスセンターで起こった事故で、救急車が出動し、「大きな事故。何十針も縫った。」という話を聞いて心配していた。どんな事故だったのか。J Aから市に報告はなかったのか。

**A** 補助金で整備した「色彩選別機」に係る事故ではなかった。J Aから市への事故に関する情報提供はない。

**Q** 消防署は情報を把握しているはずではないか。

**A** 個人情報であり、答えられない。

**Q** 給食の一部提供中止について、なぜ議会に情報提供がなかったのか。

**A** 1月27日の「たくさんあん漬け」の提供の中止は、予定していたものと材料の異なるものであったため。29日は、調理過程において、ちくわを包丁で切っていたところ、委託先の調理員のゴム手袋が5ミリ程度なくなっていたことに気づき、欠損部分を探したが見つからず、食材に紛れ込んだ可能性があることから安全性を考え「ちくわの愛知抹茶揚げ」の提供を中止した。その後、保護者宛てに手紙を出し、事の経過を報告した。

**Q** なぜ議会に、事後、報告しなかったのか。

**A** 提供前の中止であり、安全が確保されていることから議会へ報告しなかった。今となっては、報告するべきで

あったと思う。

### 農地転用について問う

**Q** 市内の農地の違反転用の現状はどのようなか。

**A** 8箇所で4000平方メートルを確認している。

**Q** 違反転用に対する対応は、どのようなになっているのか。これまでの農地法に基づく原状回復措置等の事例はあるのか。

**A** 県の違反転用是正指導マニュアルに沿って対応している。市の農業委員会が現地確認を行った上で、土地所有者等に対して口頭や書面により農地へ復旧するよう何度か是正指導を行い、改善が見られない場合は、農地転用の許可権者である愛知県に報告し、その後は愛知県と連携して継続的に是正指導を行う。

過去5年間で、1筆453平方メートルがある。現在、是正中の案件も1件ある。

**Q** 8件の無断転用についても、長期化するほど是正が難しくなる。行政代執行の制度も創設されているがご存知か。

**A** 指導マニュアルでは、是正勧告に従わない場合は、最終的には、告発、罰則ということになっている。

**Q** 建築現場では、工事の時に、建築基準法の許可を得ている旨の看板を設置している。農地転用についても、許可を受けた旨の看板を設置してはどうか。近隣の農家さんや一般市民も区別がつく。

**A** 近隣の状況をみながら、研究してい

# 令和3年度予算について 市民のみなさんからのご意見を 募集しました!!!



## ホームページを活用した意見募集を実施

岩倉市議会  
ぜひやって! いいね!  
“新年度予算事業”にご意見を!  
(3月定例会議案)  
賛成! ホントに必要! おかしいのでは... 反対!  
**ふれあいトークの代わりに  
(議会報告会)  
ホームページにて意見募集!**  
市議会では、3月定例会において新年度予算の審議を行います。  
審議にあたり、『新年度予算における新規及び主要事業』の一部を  
掲載し、市民の皆様からご意見を募集します。  
\*コロナ禍のため近年実施していた会報掲載に代えHP上で意見募集するものです。  
【ホームページへの掲載時期】2/19(金)から  
【ご意見の応募期間】2/20(土)から3/7(日)まで  
【ご意見の応募方法】ホームページ、郵送、FAX  
・岩倉市議会ホームページ: <http://www.city.wakura.aichi.jp/>  
・QRコードをご利用の方はこちらから  
・FAX: (0587) 66-0055  
\*郵送、FAXで応募の場合、書式は任意ですが「年齢(年代)」・「居住市内(行政区)」  
明記の上、事業に対するご意見を記入し、ご応募ください。  
※皆様からのご意見は、財務常任委員会各議員が質問に生かしています。  
(お問合せ先) 岩倉市議会事務局 Tel. (0587) 38-5820

意見募集を案内するチラシ

コロナ禍ということもあり、感染リスクを抑えた上で、みなさんからのご意見を集める方法は何かないかと検討し、ホームページを活用した意見募集を行うことが決まりました。

今回は、令和3年度予算の事業からいくつかの事業をピックアップして、それらの事業について意見の募集を行いました。

市内公共施設へのチラシ、ポスター設置のほか、岩倉市ほっと情報メールなどでご案内をしました。

※岩倉市ほっと情報メールへの登録  
についてはこちらのページからご  
確認ください。



## みなさんからのご意見を議案の審査に反映

(質疑の内容は次ページに一部掲載)

令和3年度予算を審査する財務常任委員会において、みなさんの意見を活かし質疑を行いました。委員会審査の様子はインターネット上に録画配信しています。ぜひご覧ください。



財務常任委員会での議案審査の様子

動画はこちらから→



## 市議会活動報告

# ご意見をもとに質疑を行いました

財務常任委員会において、みなさんからのご意見をもとに行われた質疑の一部をご紹介します。

**議員** 後期高齢者医療保健事業の人間ドック費用助成金について、75歳以上の高齢者が対象となっているが、現役世代の特に40歳代から上の市民全体を対象に行えないか。

**市** 平成20年4月からは医療保険者が、義務として40歳以上の被保険者を対象とした特定健診を実施するという制度に変わっている。

国民健康保険の加入者には、人間ドック助成制度を実施しており、その他の健康保険の方は、各健康保険の制度を利用させていただくことになる。

**議員** 総合体育文化センターにシャワートイレの設置をしてはどうかという意見があるが、令和3年度予算に計上されているシャワートイレの設置について、具体的にどれくらい設置するのか。

**市** 1階と2階の多目的トイレにそれぞれ1台ずつ設置をする予定である。一般のトイレへの設置については検討中である。

**議員** 桜まつりの際に募金箱が設置されているが、桜の植え替え費用のために、今以上に募金箱を設置してはどうか。また、クラウドファンディングを活用してはどうか。

**市** 桜まつりの際には、桜の保全の活動ということで桜並木保存会が募金活動をしている。今後、募金活動やクラウドファンディングなどの財源確保を検討する。

**議員** 市制50周年記念事業のいわくら今昔WEB写真館について、インターネットが利用できない人に対して、市内の公共施設でプロジェクターを用いて放映してはどうか。また、写真の募集に当たっては老人クラブ等に協力を依頼しては。

**市** イベント時にパネル展示をするが、その時にプロジェクター等でご覧いただけるような機会を設けることは今後考えていきたい。また、老人クラブ、区長、民生委員等にも協力をお願いし、幅広く募集していきたい。

今後も岩倉市議会は、市民のみなさんの声を  
議会に反映できるよう努めてまいります!!



# お知らせ



## 次回、6月定例会のご案内～議会の生の声を傍聴してみませんか～

次回6月定例会は下記のとおり開催いたします。(日程は都合により変更となる場合があります。)  
市議会はどなたでも傍聴できます。

なお、新型コロナウイルス感染症対策により傍聴の自粛をお願いする場合があります。

(岩倉市議会事務局 TEL:0587-38-5820 FAX:0587-66-0055)

本会議:市役所8階 議場 / 委員会:市役所7階 委員会室 にて 午前10時から

月	火	水	木	金
			6/3 本会議 (議案の上程・説明)	4 休会 (議案精読)
7 本会議 (議案質疑)	8 委員会 (総務・産業建設)	9 委員会 (厚生・文教)	10 委員会 (財務)	11 本会議 (一般質問)
14 本会議 (一般質問)	15 本会議 (一般質問)	16 委員会予備日	17 委員会予備日	18 委員会予備日
21 委員会予備日	22 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、採決)			

※紙面の都合により、土曜日及び日曜日は省略して掲載しています。

5月臨時会は、5月11日から13日の期間で開催されます。

## 写真を募集しています

岩倉市議会では、市議会だよりの表紙として皆様が撮影した写真を募集しています。写真のテーマは「岩倉らしさ、岩倉への愛着が感じられる写真」です。皆様の応募をお待ちしています。

### 【応募方法】

- ◆住所、氏名、電話番号、撮影日、撮影場所および写真に添える説明文を記入の上、直接お持ちいただくか、郵送もしくはメールで応募してください。
- ◆写真の審査は議会広報委員会で行います。応募いただいた写真は返却できかねますのでご了承ください。

【郵送先】〒482-8686 岩倉市栄町一丁目66番地 岩倉市議会事務局

【メール】gikai@city.iwakura.lg.jp



### 【市議会ホームページのご案内】

- ◆本会議・常任委員会の模様をインターネットで録画配信しています。ぜひご覧ください。  
岩倉市ホームページ (<https://www.city.iwakura.aichi.jp/>) → 市議会 → 議会動画配信
- ◆本会議および委員会等の会議録をホームページからご覧いただけます。  
〈本会議〉岩倉市ホームページ → 市議会議事録 (3月定例会の会議録は、6月上旬に公開予定です。)  
〈委員会〉岩倉市ホームページ → 委員会または協議会

議会広報委員会 (◎は委員長 ○は副委員長)

◎木村冬樹 ○片岡健一郎 ・谷平敬子 ・水野忠三 ・大野慎治 ・井上真砂美 ・堀 巖